

# SMALL FOREST WINE

第2号

## Gallery

10月からは、デンマンのたくさんの方が作ったヨーヨーでキルトを作り、出来上がったキルトを展示しています。私もヨーヨーや繋ぎあわせるのもお手伝いしました。合計何と1,764のヨー



ヨーから出来た、コミュニティー・キルトです。その完成と展示を祝うパーティをセラードアでしました。子供



達も含め、多くの町の人々が手作りのおつまみを持ち寄り生演奏も加わり楽しい夜でした。このキルトは、ラッフルで展示の最後にラッキーな誰かのものになります。集められたお金は、デンマンの二つの非営利団体、デンマン・コミュニティー・ガーデンと、デンマン・メンズ・シェッドに寄付されます。



## 春です！

発芽は8月末、2014春に芽接ぎをしたシャルドネのクローン548から始まりました。これは、今年最初に収穫をしたブロックで、一番最初に剪定を終えたブロックでもあまりです。続いて発芽したのが、シラーズです。が、とてもまばらな発芽で、同じ樹でも早く芽が出たものと、遅く出たのもの差が大きく、枝の長さがまちまちでした。これは、日中の暖かなくても、朝晩の気温が低く、土壌の温度が低かったためと思われます。近辺の畑も同じ様です。最後に発芽をしたのがヴァデーロです。例年に比べると、少々遅い出足を切りましたが、今はどの品種もほぼ足並みが揃い元気よく成長し花も咲き始めました。ますます畑の観察、水やり、風の合間を縫っての消毒が大切になります。

人海戦術によるわき芽の除去作業も大きな仕事です。ワイヤーを上げて、枝を垂直に挟んで立ち上げる作業、こちらも人海戦術です。暑くなるこれからの畑作業はますます厳しくなります。



# 今年の長期予報は・・・？

今年の冬は、霜も何度か降り凍える日もありましたが、例年に比べ穏やかでした。

長期予報通り、今年の春は気温が低めで、雨も多いです。この時期は気温が上がって葡萄が成長始める大事な時期で、水分を十分含んだ土壌は、成長には好都合です。

10月に入り日中暖かくもなりますが、まだ朝晩冷えます。冷房をつけたのも、まだ2、3日だけで、むしろ暖房をつける方が多いように思います。

今年は、少し変わった気候です。通常「風の月」が8月にやって来るのですが、なぜかありませんでした。そして、いつもと風の吹く時間帯が違っています。通常夜間風が強く、午前中は静かな地域ですが、今年は夜中が静かで朝10時くらいから風が吹き始めます。また、風の方向も少々違います。天候は毎年異なりますが、今年は特に違いが大きいように思います。今後は、害虫や病気にしっかり目を配る時期になります。いつの時期もそうですが、近くの栽培農家はもちろん、州に限らずブドウを育てたり、ワインを造る友人や仲間との連絡も、情報交換のためとても重要です。

## ワイン造り

今年収穫したシャルドネとシラーズはまだ樽の中です。

樽の中のワインのテイastingをし、ブレンド時期を考え始めたところです。オレンジ・シラーズは繊細ながら凝縮感があり、アップーハンターはフルーティーで滑らか、そしてエレガントです。どちらも、地域の特徴がよく表現されたシラーズです。



2016年のワインの仕上げと同時に、2017ヴィンテージの計画も進んでいます。昨年の反省、新しい試み等々・・・様々な計画を少しずつまとめて、まずは樽の選定がほぼ済みました。同じように、酵母の選定やヴィンテージに必要な物の準備もまとめる時期です。2017ヴィンテージがどんな年になるかとても楽しみです。2016年の様な素晴らしい、それ以上の年になる様、神様に祈る毎日が始まりました。

では、また次のニュースレターで色々ご報告しましょう！



## Roxy 旅立つ・・・

創刊号でご紹介したばかりですが、SMALL FORESTのワイナリー犬 ROXY が9月に虹の橋を渡りました。生後3ヶ月で我が家にやって来て14歳と2ヶ月でした。ゴールデンレトリバーとしては長寿で、歳をとってからも健康でとても元気でした。誕生日の後から、急に老いが現れました。

ROXYという名前は、Rosemount Estateのフラッグシップで私が手がけたRoxbrough Chardonnayに由来します。年数が経つとシャルドネの黄金色が濃くなる様に、ゴールデンレトリバーも歳と共に毛色が濃くなることから名付けました。Roxbroughは、数々のメダルや海外でトロフィーを与えられた歴史に残るアップーハンターのシャルドネです。しっかりした、パワーのあるシャルドネです。そして・・・ROXYもとても強い子でした。長寿を祝おうと、ROXYの生まれた2002年のRoxbroughを開けました。生き活きと澆刺さを残しながらも、14年の歳月を経て熟成された美しい素晴らしいワインでした。2016のシャルドネは、どの様に仕上がるでしょう？また、2年目を迎える新しく継芽をしたクローンのシャルドネもとても楽しみです。

Roxbroughの様に、素晴らしいワインとなる様、良い天候を祈るとともに、日々努力をしたいと思います。

